



# Cisco Unified Communications Manager バージョン 12.5(1) またはそれ以前のヘッドセット管理

- [Cisco Unified Communications Manager の古いバージョンでのヘッドセットの管理](#) (1 ページ)
- [デフォルトのヘッドセット コンフィギュレーション ファイルのダウンロード](#) (3 ページ)
- [デフォルトのヘッドセット コンフィギュレーション ファイルの変更](#) (3 ページ)
- [Cisco Unified Communications Manager のデフォルト コンフィギュレーション ファイルのインストール](#) (6 ページ)
- [Cisco TFTP サーバの再起動](#) (6 ページ)

## Cisco Unified Communications Manager の古いバージョンでのヘッドセットの管理

Cisco Unified Communications Manager のバージョンが 12.5(1)SU1 より前である場合は、Cisco ヘッドセット 700 シリーズ をオンプレミスの電話機で使用するようリモートで設定できます。

Cisco Unified Communication Manager バージョン 10.5(2)、11.0(1)、11.5(1)、12.0(1)、および 12.5(1) のリモートヘッドセット設定では、[Cisco ソフトウェア ダウンロード Web サイト](#)からファイルをダウンロードし、そのファイルを編集してから Cisco Unified Communications Manager TFTP サーバにアップロードする必要があります。ファイルは、JavaScript Object Notification (JSON) ファイルです。更新されたヘッドセットの設定は、TFTP サーバでのトラフィックのバックログを防ぐために、10～30 分の時間枠でエンタープライズヘッドセットに適用されます。



(注) Cisco Unified Communications Manager Administration バージョン 11.5(1)SU7 を使用して、ヘッドセットを管理および設定できます。

JSON ファイルを使用する際は、次の点に注意してください。

- コードにブラケットまたは角カッコがない場合、設定は適用されません。JSON フォーマッタなどのオンラインツールを使用して、フォーマットを確認します。
- **UpdatedTime** の設定を現在のエポック時間に設定するか、または設定が適用されません。または、**updatedTime** の値を +1 で引き上げて、以前のバージョンよりも大きくします。
- パラメータ名を変更すると設定は適用されませんので、変更しないでください。

TFTP サービスの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager and IM and Presence Service アドミニストレーションガイド』の「デバイス ファームウェアの管理」の章を参照してください。

defaultheadsetconfig.json ファイルを適用する前に、電話機を最新のファームウェアリリースにアップグレードします。次の表では、JSON ファイルを使用して調整できるデフォルト設定について説明します。

表 1: Cisco ヘッドセット 700 シリーズのパラメータとデフォルト設定

パラメータ	範囲	デフォルト	注意
アップグレードソース (Upgrade Source)	0 (UCM とクラウド) -1 (UCM のみ)	0	ダウンロード ソースが制限されます。
側音 (Sidetone)	0 (オフ) ~ 4 (適応)	0	ヘッドセットから聞こえるユーザ自身の声の音量を制御します。0 に設定すると、側音はオフになります。3 に設定すると、ユーザのヘッドセットマイクから大きなフィードバックがあります。4 に設定すると、側音の適応機能がオンになります。Adaptive 側音がアクティブな場合、ヘッドセットはユーザが話している音量に基づいて側音レベルを自動的に調整します。

パラメータ	範囲	デフォルト	注意
アクティブ ノイズ キャンセレーション (Active Noise Cancellation)	0 (オフ) ～ 6 (適 応)	5	ヘッドセットのノイズ キャンセレーションの 程度を制御します。0 を設定すると、ノイズ キャンセレーションはオフになります。5 を設 定すると、ノイズ キャンセレーションがかな り強くなります。6 を設定すると、ノイズ キ ャンセレーションの適応機能がオンになりま す。ノイズ キャンセレーションがアクティブな場 合は、ヘッドセットは周囲の環境に基づいて ノイズ キャンセレーションを自動で調整しま す。

## デフォルトのヘッドセットコンフィギュレーションファイルのダウンロード

ヘッドセットパラメータをリモートで設定する前に、最新の JavaScript Object Notation (JSON) サンプル ファイルをダウンロードする必要があります。

### 手順

- ステップ 1 URL <https://software.cisco.com/download/home/286325098> にアクセスします。
- ステップ 2 ヘッドセット 700 シリーズ を選択します。
- ステップ 3 ヘッドセット シリーズを選択します。
- ステップ 4 リリース フォルダを選択し、zip ファイルを選択します。
- ステップ 5 [ダウンロード (Download)] または [カートに追加 (Add to cart)] をクリックして、プロンプトに従います。
- ステップ 6 ファイルを PC のディレクトリに解凍します。

### 次のタスク

[デフォルトのヘッドセット コンフィギュレーションファイルの変更 \(3 ページ\)](#)

## デフォルトのヘッドセットコンフィギュレーションファイルの変更

JavaScript Object Notation (JSON) ファイルを使用する際は、次の点に注意してください。

- コードにブラケットまたは角カッコがない場合、設定は適用されません。JSONフォーマッタなどのオンライン ツールを使用して、フォーマットを確認します。
- **UpdatedTime** の設定を現在のエポック時間に設定するか、または設定が適用されません。
- **FirmwareName** が LATEST であること、または設定が適用されていないことを確認します。
- パラメータ名を変更しないでください。設定は適用されません。

## 手順

**ステップ 1** テキスト エディタを使用して defaultheadsetconfig.json ファイルを開きます。

**ステップ 2** **updatedTime** と変更するヘッドセット パラメータの値を編集します。

次にサンプル スクリプトを示します。このスクリプトはあくまで参考例です。ヘッドセット パラメータを設定する際には、これをガイドとして使用してください。ファームウェアロードに含まれている JSON ファイルを使用します。

```
{
  "headsetConfig": {
    "templateConfiguration": {
      "configTemplateVersion": "1",
      "updatedTime": 1537299896,
      "reportId": 3,
      "modelSpecificSettings": [
        {
          "modelSeries": "530",
          "models": [
            "520",
            "521",
            "522",
            "530",
            "531",
            "532"
          ],
          "modelFirmware": [
            {
              "firmwareName": "LATEST",
              "latest": true,
              "firmwareParams": [
                {
                  "name": "Speaker Volume",
                  "access": "Both",
                  "usageId": 32,
                  "value": 7
                },
                {
                  "name": "Microphone Gain",
                  "access": "Both",
                  "usageId": 33,
                  "value": 2
                },
                {
                  "name": "Sidetone",
                  "access": "Both",
                  "usageId": 34,
                  "value": 1
                }
              ]
            }
          ]
        }
      ]
    }
  }
}
```

```
        {
          "name": "Equalizer",
          "access": "Both",
          "usageId": 35,
          "value": 3
        }
      ]
    }
  ],
},
{
  "modelSeries": "560",
  "models": [
    "560",
    "561",
    "562"
  ],
  "modelFirmware": [
    {
      "firmwareName": "LATEST",
      "latest": true,
      "firmwareParams": [
        {
          "name": "Speaker Volume",
          "access": "Both",
          "usageId": 32,
          "value": 7
        },
        {
          "name": "Microphone Gain",
          "access": "Both",
          "usageId": 33,
          "value": 2
        },
        {
          "name": "Sidetone",
          "access": "Both",
          "usageId": 34,
          "value": 1
        },
        {
          "name": "Equalizer",
          "access": "Both",
          "usageId": 35,
          "value": 3
        },
        {
          "name": "Audio Bandwidth",
          "access": "Admin",
          "usageId": 36,
          "value": 0
        },
        {
          "name": "Bluetooth",
          "access": "Admin",
          "usageId": 39,
          "value": 0
        },
        {
          "name": "DECT Radio Range",
          "access": "Admin",
          "usageId": 37,
          "value": 0
        }
      ]
    }
  ]
}
```

```
{
  "name": "Conference",
  "access": "Admin",
  "usageId": 41,
  "value": 0
}
]
```

ステップ 3 defaultheadsetconfig.json を保存します。

---

#### 次のタスク

デフォルトのコンフィギュレーション ファイルをインストールします。

## Cisco Unified Communications Manager のデフォルト コンフィギュレーション ファイルのインストール

defaultheadsetconfig.json ファイルを編集した後に、TFTP ファイル管理ツールを使用して、そのファイルを Cisco Unified Communications Manager にインストールします。

#### 手順

- 
- ステップ 1 Cisco Unified OS の管理から、[ソフトウェア アップグレード (Software Upgrades)] > [TFTP ファイル管理 (TFTP File Management)] を選択します。
  - ステップ 2 [ファイルのアップロード (Upload File)] を選択します。
  - ステップ 3 [ファイルの選択) Choose File)] を選択し、defaultheadsetconfig.json ファイルに移動します。
  - ステップ 4 [ファイルのアップロード (Upload File)] を選択します。
  - ステップ 5 [閉じる (Close)] をクリックします。
- 

## Cisco TFTP サーバの再起動

defaultheadsetconfig.json ファイルを TFTP ディレクトリにアップロードした後に、Cisco TFTP サーバを再起動し、電話機をリセットします。約 10 ~ 15 分後にダウンロードプロセスが始まり、新しい設定がヘッドセットに適用されます。設定を適用するには、10 ~ 30 分かかります。

## 手順

---

- ステップ 1 Cisco Unified Serviceability にログインして、[ツール (Tools)] > [コントロールセンタ - 機能サービス (Control Center - Feature Services)] を選択します。
  - ステップ 2 [サーバ (Server)] ドロップダウンリスト ボックスから、Cisco TFTP サービスが実行されているサーバを選択します。
  - ステップ 3 Cisco TFTP サービスに対応するラジオ ボタンをクリックします。
  - ステップ 4 [再起動 (Restart)] をクリックします。
-

